

ウダヤナ大学（インドネシア、バリ島）訪問

看護学科の木戸久美子教授と植村裕子准教授が実践者養成コース（助産学）の学生らとウダヤナ大学医学部看護学科を訪問しました。

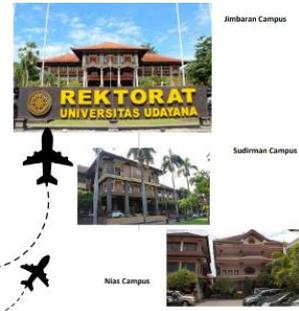
令和5年6月11日～14日の日程で、インドネシア（バリ島）で開催された The 33rd ICM

（The International Confederation of Midwives）大会への出席に合わせて、インドネシア（バリ島）にあるウダヤナ大学医学部看護学科を母性看護・助産学教員2名（木戸、植村）、さぬき市民病院 松下有希子副看護部長と実践者養成コース（助産学）の学生

3名（岡 奈央、山野楓果、森あまね）とともに訪問しました。ウダヤナ大学は、1962年に設立された国立大学の一つで、看護学科には、1. Pediatric Nursing（小児看護） 2. Maternity Nursing（母性看護） 3. Community Nursing（地域看護） 4. Psychiatric Nursing（精神看護） 5. Management Nursing（看護管理） 6. Medical-Surgical Nursing（外科看護） 7. Emergency Nursing（救急看護） 8. Intensive-care Nursing（集中治療看護）の8つの領域があります。そのカリキュラムは、3.5年間で、講義（7割）と演習（3割）を行っており、その後1年間のクリニカルインターンシップでクリニック、病院、地域での実習を行っています。バリ島は観光地としても有名で、旅行者におこりやすい事故やそのケアについてシミュレーションを通して学ぶ観光看護学という授業もあります。しかし、コロナ禍では、対面での授業は中止になり、本学でも活用された Webex を用いた遠隔授業を行っていたとのことでした。今回は、ウダヤナ大学看護学科教員に香川県立保健医療大学母性看護学領域で行っているシミュレーション教育の実際について説明し、教育評価方法についてディスカッションしました。また、ちょうど訪問したときに行われていた臨床客観能力試験（OSCE：Objective Structured Clinical Examination）の見学も行いました。共同研究や学生の臨地実習などを通して、今後も交流を継続していきたいと考えています。

Udayana University

Jl. Raya Kampus Unud Jimbaran, Kec. Kuta Sel.,
Kabupaten Badung, Bali 8036



使用許諾を得ています（ウダヤナ大学より提供）

